



令和6年

12

11月30日発行

# 佐伯高校

No.8 地域支援員だより

全員主役!



Topics

## 文化祭特集!!

11月3日(日)、水と緑のまち さいき文化センターで地域と佐伯高校共同の「佐伯地域文化祭」が開催されました。前日の大雨もすっかり上がり、晴天に恵まれたこの日は文化祭日和となりました。各クラスで模擬店を出店した佐伯高校生は、うどんや焼き鳥、ポップコーンなどバリエーション豊かなメニューを出店し、ステージ発表では箏曲部と地域共同の邦楽演奏や、各クラスのダンスなどを披露してくれました。多くの地域の方々や保護者の皆さま、卒業生も来場いただき、皆様のおかげでより一層盛り上がりのある文化祭となりました。生徒たちにとって、思い出に残る大切な1日となったことと思います。😊



写真、まだまだあります♪  
詳しくはこちらのQRコードから



令和6年

12

11月30日発行

No.8 地域支援員だより

# 佐伯高校

全員主役!



## 探究学習

### 心と心のハーモニーフェスタ

10月26日(土)、水と緑のまち さいき文化センターで「心と心のハーモニーフェスタ」が行われ、佐伯高校生は探究学習の一環で車いす体験・アイマスク体験ブースとヘルプマークの代わりになるモノたちブースを担当しました。

また、生徒会メンバーは司会を担当し、ステージの催し物に出演される方々の盛り上げ役として務めました。さらに締めくくりには佐伯高校の〇×クイズも行い、地域の方々に佐伯高校を知っていただく機会となりました。生徒の皆さん、お疲れ様でした。😊



車いす体験



アイマスク体験



司会を担当した生徒会メンバー

「障害者への偏見をなくしていくためには」というテーマで探究を行っている3年生のチームは、車いす体験ブースを担当、この秋から福祉について探究をスタートさせた1年生のチームは、社会福祉協議会の方々と共同でアイマスク体験を担当しました。

また、ヘルプマークの代わりになるモノたちブースでは、障害の症状や周りの方に対応してほしいことが書かれた缶バッジの展示を行いました。この缶バッジは、兄弟に障害を持つ生徒が作成しており、生徒は「ヘルプマークだけではどんな障害を持っているのかわからない。大変な時になって気づかれるバッジではなく、いつも分かっているほしいことをパッと見て分かるようにした。コーデの一部になるように身に付けたいようなデザインを意識して作った。」と話します。展示物を見ていただいた来場者の中には、「こんなバッジも作ってほしい」と提案の声も寄せられました。



ヘルプマークの代わりになるモノたち  
みんなが助け合って生きていくために知ってほしいヘルプマークを集めました。

## 部活動

### VS. 佐伯中学3年生男子

10月31日(木)、佐伯中学校で佐伯高校女子野球部1年生 VS. 佐伯中学校3年生男子の有志たちで親善試合が行われました。佐伯中学校は昨年、部員数が足りず野球部が廃部になったそうです。それを耳にした佐伯高校が親善試合を持ち掛け実現したこの試合。女子野球部のみんなもいつもと違う野球を楽しんでいるようでした。次回は佐伯中学校の2年生もやりたいと、意気込みを見せてきています。



## 公営塾

### 2つの新公営塾が開始

佐伯高校で行っている、市が運営する公営塾に新しいクラスが加わりました。ひとつは受験に向けた小論文・面接対策クラス。もうひとつは集中して勉強ができる自習教室と英語と数学の個別指導クラスです。自習学習・個別指導クラスはサポーターとして大学生もあり、受験や大学生活でのアドバイスも行います。また、佐伯中学生も対象としていて、初日から多くの利用者が参加してくれました。



11月から開始 自習学習・個別指導クラス



10月~11月限定 小論文・面接対策クラス

佐伯高校魅力化担当 地域支援員 稲田